

環境会計

ニチレイグループは、環境保全活動に要したコストおよび環境保全上の効果を定量的に把握するために、2000年度より環境会計を導入しています。

環境保全コスト

(単位：千円)

コスト区分	主な取組み内容	食品工場		物流センター	
		投資額	費用額	投資額	費用額
事業エリア内コスト		80,626	869,039	101,413	407,976
内訳	公害防止コスト	22,331	551,386	3,200	87,212
	物流センター 水質汚濁防止のための廃水処理設備の維持、管理、負荷削減 加熱や給湯のためのボイラー設備や食品臭気対策設備の維持管理				
	地球環境 保全コスト	58,296	70,556	97,613	143,429
	資源循環コスト	0	247,096	600	177,335
上下流コスト	環境物品などの調達、購入(グリーン購入) ※発生した通常購入との差額	0	2	0	44,407
管理活動コスト	環境マネジメントシステム構築、維持管理 従業員の環境教育 事業所周辺の美化活動	0	37,259	1,950	44,645
社会活動コスト	事業所周辺以外の自然保護や美化、緑化活動 環境保全事業、団体への寄付	0	1,620	0	20,808
合計		80,626	907,919	103,363	517,837

2012年度投資額の主な内容

(食品工場)

廃水処理設備の維持、負荷低減
悪臭防止に係わる設備導入
設備の省エネ対応

(物流センター)

省エネ型の照明器具の導入
冷蔵庫への暖気進入防止対策
その他設備の省エネ対応

集計範囲

国内の食品工場および全物流センター(旧ヒラヤマの工場は含んでいません)

集計の考え方・方法

- ① 減価償却費は経理システムの「固定資産一覧」を基に、廃水処理設備などの環境負荷に関わる設備を対象とし、法定耐用年数を用いて計算しています。
- ② 人件費は環境保全活動ごとに必要となる作業工数を割り出し、作業工数に作業員数および事業所の平均賃率を乗じて算出しています

2012年度環境保全対策に伴う経済効果

(単位：千円)

効果の内容		効果金額
収益	リサイクルによる売却益	40,838
費用削減	廃棄物削減による原材料、資材購入費 及び廃棄物処理費の削減	1,847
	省エネルギーによるエネルギー費の削減 (電気)	19,356
	省エネルギーによるエネルギー費の削減(熱)	24,280
	省資源(節水、容器包装減量など)	31,292
合計		117,613

集計範囲

2012年度末までにISO14001認証取得済みの11工場

集計の考え方・方法

- ① 測定結果などに基づき集計可能な実質的效果(リサイクル推進活動により生じた売却益、電力削減などにより生じた費用削減)についてのみ集計しています。
- ② 2011年度および2012年度に新たに実施した環境保全活動(年度の途中から実施したものも含む)によるもので、2012年度に発生した利益貢献金額に相当します。